

# 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

## 第 11 回 運営委員会 議事録

### (1) 日時

---

2020 年 10 月 19 日 (月) 17 時~19 時

### (2) 会場

---

Zoom オンライン会議

### (3) 参加者

---

#### ① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	森山忍
岡山 NPO センター	石原達也
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 21	伊藤彰

#### ② 事務局

岡山 NPO センター	北内はるか
ひろしま NPO センター	松村渉

## (4) 議題

---

### ① 2019 通常枠について

#### 1) 計画の修正（新 ToC）についての意見交換および承認

【資料 1】201014 中国 5 県休眠預金 2019ToC

- ✓ 当コンソの評価担当者（各県 PO 等）がブラッシュアップし、JANPIA PO との協議の上整理した 2019 通常枠の ToC について意見交換を行い、大枠の方針について承認した。
- ✓ 非資金的支援である伴走支援と、当コンソとして取り組む包括的な仕組みづくりについては、現時点では十分に事業を評価出来ていると判断した。
- ✓ 資金的支援（助成金を活用した実行団体による取組み）については、県ごとにテーマが異なるため、1 本化と個別掲載について意見交換を行い、2019ToC については共通項である施設等のハード整備、ファンやパートナー獲得による連携づくりの 2 つの柱を共通軸として図ることとした。
- ✓ 資金的支援については、中間評価等の機会を通じて、その妥当性について改めて評価することとした。

#### 2) 予算および予算執行状況の確認および承認

【資料 2】201019 休眠 2019 予算執行状況

- ✓ 事務局より、2019 通常枠の 2020 年度上半期の報告を行い、運営委員会において承認された。
- ✓ コロナの影響から、旅費交通費については大きく執行状況が悪かったため、その対策についてを協議し、以下の方針を定めた。
  - ◇ オンライン対応（通信環境整備、PC 購入、マイクスピーカー等の音響システム購入、電子決済等の検討 等）の実施
  - ◇ オンラインセミナー等の積極的開催（不動産等の高額な投資に対する諸注意、人材を雇用する際の労務についての諸注意 等）
  - ◇ 実行団体や資金分配団体に対する専門家支援の実施
  - ◇ PO 等の研修実施
  - ◇ 専門家や当コンソ PO 等による専門チーム作り（リスト化等）
  - ◇ 実行団体への追加助成（JANPIA に要確認）
- ✓ これらについては JANPIA に助成金返金についての方針等を確認し、適切な活用方法であることを承認いただいて予算組替等を実施することとした。

#### 3) JANPIA との資金提供契約の覚書締結についての確認および承認

上記 1) および 2) とうにおいて承認された修正計画等において JANPIA との資金提供契約（覚書締結）を締結することを確認、承認した。

### ② コロナ枠について

1) 予算および予算執行状況の確認および承認

【資料3】201019 休眠コロナ予算執行状況

■当コンソ予算について

- ✓ 事務局より各県の予算感および執行状況等について共有が行われ、承認された。

■実行団体の助成金額について

- ✓ 各県 PO による契約に向けた取り組み状況について共有が行われ、改めて各実行団体の助成金額について意見交換を行い、承認された。

【各県支払助成金額】

鳥取：11,500,000 円

島根：9,800,000 円

岡山：11,400,000 円

広島：10,500,000 円

山口：6,800,000 円

計：50,000,000 円

③ 2020 通常枠について

1) 各県のテーマについて確認および承認

【資料4】200812 面談用資料\_中国5県コンソ

- ✓ 申請時資料を踏まえ、改めて各県が取り組むテーマについての意見交換を行い、以下のとおりテーマと助成金額、採択団体について共有した。

鳥取：不登校・ひきこもり、障がい者

現状は提案通り

1 件あたり上限 1,000 万円を想定

2 件採択を想定（不登校・ひきこもり 1 件、障がい者 1 件）

島根：不登校・ひきこもり、障がい者

どちらのテーマにするかは改めて調査し確定する

1 件あたりの上限 2,000 万円を想定

1 件採択を想定

岡山：多様な働く場づくり

分野についてはある程度限定するか、広く公募するか調整中

1 件あたりの上限 2,000 万円を想定

1 件採択を想定

広島：多様な働く場づくり

分野についてはある程度限定するか、広く公募するか調整中

1 件あたりの上限は 2,000 万円を想定

1 件採択を想定

山口：持続可能なまちづくり、児童養護、働く場づくり

当初の2テーマ（まちづくり、児童養護）にするか、岡山広島と足並みをそろえるかを再度調査等を踏まえて検討

1件あたりの上限1,000万円を想定

2件採択を想定

ただし、テーマによっては2,000万円1件採択の可能性もある

- ✓ 11月中旬を予定している公募要領の作成までに、各県において調査を進め、テーマ及び助成額、採択件数を決定することとした。
- ✓ 事務局より、助成額減額のため、1県あたりの助成額は1,700万円が上限（5県総額で8,500万円）となる旨の報告があり、承認された。

## 2) 予算の確認および承認

【資料5】201019休眠2020予算執行状況

### ■全体感

	①申請時	②内定時	差額(②-①)
支払助成金	100,000,000円	85,000,000円	▲15,000,000
管理的経費	17,592,240円	15,000,000円	▲2,592,240円
PO関連経費	27,728,000円	27,728,000円	0円
評価関連経費(資金分配)	6,417,000円	6,417,000円	0円
評価関連経費(実行団体)	5,400,000円	5,400,000円	0円
合計	157,137,240円	139,545,000円	▲17,592,240円

- ✓ 支払助成金と管理的経費の配分については、管理費を15%とし、上記表のとおり支払助成金8,500万円、管理的経費1,500万円とした。
- ✓ 評価関連経費については、JANPIAからの内定通知では申請額と同じ金額が示されていたが、受取り助成金に対しての5.5%上限のルール適用についてを確認することとした。

### ■各県の配分

- ✓ 事務局より、本予算を基にした各県への配分についての提案が行われ、承認された。
- ✓ ただし、JANPIAとの資金提供契約を通じて変更の可能性があることと、実態に合わせた変更も含めて対応することとした。

## 3) 各県POについての確認および承認

	2019PO	2020PO(※候補)	人数計
鳥取		松林、谷	2名
島根	森山	加納	2名
岡山	北内	西村、妹尾	3名
広島	松村	山本、増田	3名
山口		伊藤	1名

- ✓ POについては上記の通り各県より推薦があり、承認された。
- ✓ JANPIAによるPO研修参加人数上限によっては参加できない可能性もある旨を共有し、まずは各県2名、余裕がある場合は3人目を追加することとした。

#### 4) スケジュール感の確認および承認

【資料6】スケジュール表(2020年10月～2021年3月)

- ✓ 2020年度のスケジュールについては、以下のとおり進めることを承認した。
- ✓ ただし、JANPIAとの契約、実行団体との契約については正確な時期を定めることが困難な事から、ある程度の余裕を持ったスケジュールを組むこととした。

【2020年度スケジュール】

～11月：JANPIAとの資金提供契約、公募要領の作成、審査委員の就任

12月～1月中旬：公募期間、説明会の実施

公募期間は年末年始を跨ぐ

1月中旬～2月：審査期間、事前審査、審査委員会の実施、運営委員会での内定団体承認

3月：内定団体との資金提供契約、内定団体向け説明会

4月：内定団体との資金提供契約締結

#### ④ その他

##### 1) JANPIA役員との意見交換についての確認および承認

【参考】

2020/10/7

JANPIA 事務局長 鈴木均様からのメール

さて、現在、当機構では、私共のパートナーであります資金分配団体の方々との連携を今まで以上に重視した取り組みを進めていくための施策を検討しております。その一環として、その連携強化に向けて2019年度に採択された資金分配団体の代表者等の皆様と当機構役員等との自由意見交換会を年内に開催するべく企画しております。

草の根活動支援事業(全国ブロック)、草の根活動支援事業(地域ブロック)、新規企画支援事業およびソーシャルビジネス形成支援事業および災害支援事業の4つに分けて各2時間程度、現在遂行していただいている休眠預金を活用した事業について課題の共有化、休眠預金を活用した事業として取り組むメリットや改善したい点などについて自由に意見交換を行いたいと考えております。

日程調整等、後日改めて詳細についてご案内申し上げます所存ですが、取り急ぎ企画趣旨についてご連絡申し上げました。貴団体の代表者をはじめとする関係者とも共有いただければ幸いです。

また、今後、実務レベルでの対話の機会も拡充させていく方針です。ご質問やご提案等がございましたらご遠慮なくコンタクト願います。

休眠預金を活用した事業の成功に向けて今後ともよろしく願いいたします。

- ✓ JANPIAからの日程連絡を待って、参加可能な運営委員が対応することとした。

合同会社

③子ども・若者・家庭支援：2件/NPO 法人こども未来ネットワーク、NPO 法人智頭の森こそだち舎

④地域コミュニティ支援：2件/大山移住交流サテライトセンター、NPO 法人トラベルフレンズ・とっとり

島根県：2件

①障がい者就労・居場所支援：2件/NPO 法人あったかいいねっと、NPO 法人YC スタジオ  
岡山県：3件

①障がい者就労・居場所支援：2件/NPO 法人未来へ、NPO 法人まこと

②外国人生活・居場所支援：1件/NPO 法人メンターネット

広島県：3件

①外国人生活・居場所支援：3件/株式会社グローバルキャリア研究所、一般社団法人グローバル人財ネットワーク、NPO 法人安芸高田市国際交流会

山口県：3件

①外国人生活・居場所支援：1件/青年海外協力隊山口県 OB 会

②子ども・若者・家庭支援：2件/NPO 法人せわやきネットワーク、NPO 法人 NO BORDER

## (5) 資料等

資料1 2020 年度事業計画案

資料2 2020 年度資金計画案

以上で議事のすべてを終了し、18:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。


2020 年<sup>10</sup>9月30日

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長 松原裕樹 

運営委員 毛利葉 

運営委員 森山忍 

運営委員 石原達也 

運営委員 伊藤彰 